

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

2：【高校の特色ある取組】と3：【学校紹介スペシャル】は各高等学校から寄せられた原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【全県一学区に向けての取組】

- (1) 公立高校合同相談会の開催
- (2) オープンキャンパス（学校説明会）の開催

2：【高校の特色ある取組】

- (1) 東松島高等学校
宮城県唯一の三部制・単位制高校
- (2) 石巻商業高等学校
石巻専修大学との『高大接続研究事業』について
- (3) 宮城県工業高等学校
ものづくりの現場に学ぶ
- (4) 一迫商業高等学校
栗原版デュアルシステム
- (5) 田尻さくら高等学校
昼夕間開講型単位制高校

3：【学校紹介スペシャル】

- 佐沼高等学校
校是「文武両道」のもと、一人ひとりの目標に向かって

4：【お知らせ】

- 公立高校ガイドブックについて
- 公立高校ガイド（入試情報）について

5：【編集後記】

■ 1 全県一学区に向けての取組 ■

□ 公立高校合同相談会の開催

「公立高校合同相談会」を5会場で開催します。各高校の特色や教育内容、学校生活等の説明とともに、個別の相談・質問に応じます。参加についての事前の申込みは必要ありません。中学生と保護者の皆様、ぜひ参加ください。

①「学校別相談コーナー」

… 各高校のスペースで個別の相談・質問に応じます。

②「学校別説明会」

… タイムテーブルに従って各高校が学校紹介（約15分）を行います。

◇仙台会場 … 7月27日（日） 9：30～16：30

仙台市体育館

① 78校 ② 59校 ③ 9校

◇気仙沼会場 … 8月 9日（土） 9：30～16：30

気仙沼市総合体育館（ケー・ウェーブ）

① 29校 ② 23校 ③ 46校

◇白石会場 … 8月23日（土） 9：30～16：30

白石市文化体育活動センター（ホワイトキューブ）

① 45校 ② 38校 ③ 37校

◇大崎会場 … 9月13日（土） 9：30～16：30

大崎市古川総合体育館

① 62校 ② 38校 ③ 21校

◇石巻会場 … 9月20日（土） 9：30～16：30

石巻市総合体育館

① 55校 ② 48校 ③ 29校

①：「学校別相談コーナー」参加予定校数

②：「学校別説明会」参加予定校数

③：「資料」参加予定校数

※ 気仙沼、白石、大崎、石巻会場の駐車場には限りがあります。仙台会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※ 気仙沼、大崎、石巻会場は上履きが必要です。外履きはお持ちになって移動して下さい。

※ 5会場すべて飲食禁止です。また、配布する資料やゴミはお持ち帰りください。

具体的な参加高校名や「学校別説明会」のタイムスケジュールなどの詳細については、高校教育課のホームページを御覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック



「平成20年度公立高校合同相談会実施要項」をクリック

□ オープンキャンパス（学校説明会）の開催

各高校において「オープンキャンパス（学校説明会）」を開催します。学校の特色の説明や、授業・部活動の体験・見学など、各学校がそれぞれ工夫をこらした魅力ある説明会・見学会です。ぜひ参加ください。

今年度も夏休み中に50校を超える高校が開催を予定しています。また、夏休みの前後の土曜日等にも多くの学校が開催を予定しています。

各学校の開催日時や参加対象者等について、高校教育課のホームページに掲載していますので、御覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック



「平成20年度実施オープンキャンパス（学校説明会）一覧」

をクリック

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 東松島高等学校

＜宮城県唯一の三部制・単位制高校＞

東松島高校は、平成17年4月に開校し、今年で4年目を迎えるとともに、初の卒業生をこの3月に送り出した新しい学校です。全県一学区なので、県内各地から生徒は通学しています。

○三部制とは

I部（原則8時45分からの6時間授業）、II部（原則10時35分からの6時間授業）、III部（原則17時30分からの4時間授業、昼の授業を受講することで3年卒業も可）と三部に分かれており、時間割は自分で作ります。

1日12時間授業を実施し、所属する部の枠を越えて授業を選択できるため、1日に8時間も授業を受講している生徒もいます。

○単位制とは

学年制ではなく、原則3年以上在籍し、74単位以上修得すれば卒業できます。

○特色ある取り組み

本校を会場に継続的に大学の授業が受けられる講座（石巻専修大学との高大接続研究事業）や夏休み中に行われる東京在住のプロによる演劇特別授業など。

○学校見学

1年を通していつでも学校を開放しています。事前に連絡を頂ければ、案内・説明をしますし、実際に授業も受けられます。

○アクセス

JR仙石線矢本駅下車徒歩5分

→ <くわしくはこちら> <http://www.higashi-matsushima.myswan.ne.jp/>

問い合わせ・学校見学連絡先 東松島高校 TEL 0225-82-9211

□ 石巻商業高等学校

| <石巻専修大学との『高大接続研究事業』について>

本校では、昨年度から3年生を対象に専門的な学習に対する動機付けや学習意欲の向上を図るために、石巻専修大学との『高大接続研究事業』を実施しております。

これは石巻専修大学のご協力により、受講料免除で同大学の前期3講座、後期6講座の計9講座の中から各期1講座を、希望生徒が週1回受講できるというものです。しかも、本校と大学の両校で受講した講座の単位の認定も行ないます。

また、今年度からは受講可能な講座数も増えて、ますます充実した内容になっております。

実際に大学キャンパスに通い、多くの大学生と共に学び、高校生活とは異なる学校の雰囲気を感じ取ることで、上級学校への意識を高めることができますと思います。

詳しくは石巻商業高等学校ホームページ『高大接続研究事業』にアクセスしてください。

→ <くわしくはこちら> <http://www.sekisyo.myswan.ne.jp/>

□ 宮城県工業高等学校

| <ものづくりの現場に学ぶ>

中学生の皆さんで、テレビのクイズ番組「工場見学コーナーで、これは何を作っているのでしょうか」という内容を御覧になった人も多いと思います。

本校では毎年すべての学科（県内最多の6つの学科）で、それぞれ工場見学に出かけています。これは先端技術に接し、工業技術の見識を深めるとともにキャリア教育における職業観や勤労観を学ぶための重要な授業です。

今年の主な見学先は宮城県内のトヨタ自動車東北・ケイテック・仙台ニコン・日本製紙・通研電気工業・女川原子力発電所・東北リコーなどです。

各工場では本校のOBの方から製造現場のものづくりについて説明を受けることも多く、自分たちの将来の進路選択にも大いに役立っています。

さらに文部科学省と経済産業省が提携したクラフトマン21事業の指定により、実習体験や研修施設での現場実習など、企業の方から直接ものづくりについて実践的な指導を受けています。

また、2年生で行う校外HR（修学旅行に相当）でも、関東や関西の大きな工場の見学をする学科もあり、視野を広げています。PTAでも毎年、校外研修として工場見学を行い、保護者も最新のものづくり現場で研修をしています。

このように、本校では産業や経済の発展に貢献できる実践的技術者の育成を目指し、さまざまな取組を行っています。

→ <くわしくはこちら> <http://www.miyagi-th.myswan.ne.jp>

□ 一迫商業高等学校

| <栗原版デュアルシステム>

一迫商業高等学校は、栗原地域の産業界と連携し、逞しく生き、将来有能な人材となる生徒の育成を目指して、平成17年度から（3年間）文部科学省の指定校となり、栗原版デュアルシステム（職業訓練システム）を実施してまいりました。平成20年度は宮城県から「個性かがやく高校づくり推進事業」の援助を受けて行ってお

ります。

このシステムは「企業実習」、「販売実習」、「起業家研究」を3本柱としており、中でも「起業家研究」では、地元の企業「もちっ小屋でん」の協力・指導を受け、協同で商品を開発し、製造、包装、販売までの活動を行いました。独自に開発してすでに市販されている「米ていら」（米からつくったカステラ）や「持夢子（もちむす）」（米からつくったムース）の美味しさは是非味わってみてください。今年度は同じく地元企業の「丸勝」さんの指導を受けて「くりはら弁当」を開発中です。

「栗原版デュアルシステムの構造」や「米ていら」の写真など、くわしくは以下のページをご覧ください。

→ くわしくはこちら>

[http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/\(79\)18-12.pdf](http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/(79)18-12.pdf)

ページを開いてから、2ページ目をご覧ください。

□ 田尻さくら高等学校

| <昼夕間開講型単位制高校>

田尻さくら高等学校は、平成20年4月に開校しました県北初の単位制高等学校で、主役は生徒の皆さんです。本校では、丁寧なガイダンスのもとに、大学進学対応の科目、福祉系の科目・情報系の科目、商業系の科目、教養系の科目など、自ら自分にあった科目を選択して学習するスタイルでなりたいものに向かって頑張れる学校です。Ⅱ部を設置されていることから定時制高校になっていますが、通常の夜間定時制高校とは全く違い三修制（3年間で卒業）で、従来の全日制・定時制の枠を超えた新しい学校といえます。

■単位制で時間割は生徒の皆さんが決めます。

■二部制です。

（ア）授業時間はⅠ部8：45～14：55、Ⅱ部13：15～19：05です。どちらも45分6時間授業です。

（イ）5、6校時は【併修】といって両方の生徒が同時に授業を受ける時間帯があります。

■学年・クラスはありません。

生徒20人に1人のチューターがおり、学習・進路・生活の相談にあたります。

■服装は基本的には自由です。

儀式の際は標準服（スーツ、ブレザー等）着用としています。

■コンセプトは3Cです。

本校はChallenge（夢に挑戦）、Career-up（生きる力を育てる）、Communicate（地域とともに）の3Cをキャッチフレーズとしており、自ら進んで学習活動や課外活動に積極的に取り組むことができる生徒の皆さんを待っています。新しいスタイルの学校で、自分自身が作成した時間割の基に、自分の夢実現のため、挑戦しようではありませんか。

ぜひ、Webページを閲覧してください。

→ くわしくはこちら>

<http://www.tajiri-hs.myswan.ne.jp/indexsakura.html>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 佐沼高等学校

| <校是「文武両道」のもと、一人ひとりの目標に向かって>

佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、一人ひとりの生徒がそれぞれの目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は51名。インターハイや全国総合文化祭に数多くの生徒が出場しました。

文武両道の取り組み① 学習面

佐沼高校では、今年度から、毎日45分×7時間の授業を行っています。どんな進路を希望するとしても重要になる英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。この3教科では、授業時間数を通常より増やしているだけでなく、少人数による授業も行っており、密度の濃い学習ができます。

また、授業に加えて、学習を深めていくための課外講習などもあります。全学年対象で、年間を通じて月に2回程度行われている「土曜課外」。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」。その他にも、仙台や東京から予備校の講師を佐沼高校に招いて行われる「予備校連携課外」や、他の高校と合同で校外で行う「学習合宿」など、学ぶ機会はたくさんあります。

文武両道の取り組み② 部活動

今年は陸上競技（棒高跳）及びボート競技（男子ダブルスカル、女子ダブルスカル）でインターハイへの出場を決めています。文化部でも箏曲部と美術部が全国総合文化祭へ出場します。その他、どの部も県総体や各種大会・発表会等に向けて熱心に活動しています。また、部活動を通して「チームワーク」や「自分たちでよりよい練習計画を立てること」など、成績や結果だけでなく多くのものを手に入れることができるはずです。

文武両道の取り組み③ 学校行事

佐沼高校は、学校行事の盛んな学校です。特に夏休み前後に行われる「球技大会」「陸上大会」「佐高祭（文化祭）」は「三大大行事」と呼ばれ、大きな盛り上がりを見せます。行事では、あたえられたものを受け身に楽しむだけでは、本当に楽しむことはできません。佐沼高校では、生徒会役員や実行委員の生徒を中心に、毎年「去年以上に盛り上がる、よい行事にしよう」と自分たちで考え、行動しています。そして、みんなが参加することでより「楽しめる、盛り上がる」行事になっているのです。今年の佐高祭は8月31日（日）に一般公開します。多くの方の来校をお待ちしています。

文武両道の取り組み④ 生徒のがんばりを支える環境

放課後の職員室前。廊下には机が並び、手元を明るくする照明もあります。多くの生徒が遅くまで自習しています。わからないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。この、放課後の学習は佐沼高校の伝統ともいえるものです。先

輩方の姿が後輩たちに引き継がれていきます。

佐沼高校には、登米市内を中心に、広範囲から生徒が通学しています。通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

→〈ホームページはこちら〉 <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

■ 4 お知らせ ■

◆公立高校ガイドブックについて

県内の中学2年生の皆さん、皆さんの教室に「公立高校ガイドブック」をまもなくお届けします。皆さんの進路選択の一つの資料として役立ててください。

「公立高校ガイドブック」は、高校教育課のホームページにアップする予定ですので、ご活用ください。

◆公立高校ガイドについて

平成21年度春の高校入試関係情報を含む各高校の特色をまとめた「平成20年度公立高校ガイド（入試情報）」を今年度版に更新する予定（7月中旬）です。

「平成20年度公立高校ガイド（入試情報）」については高校教育課のホームページともリンクしていますので、ご活用ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」 検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック



「公立高校ホームページ」をクリック



「見たい学校」をクリック … 各学校のHPのトップページへ



「公立高校ガイド（入試情報）」をクリック

■ 5 編集後記 ■

夏休みが近づき、日差しもだいぶ強くなってきました。

今年度になって2号目の「高校教育課 情報メール」第5号をお届けします。第5号では、夏休み前後に実施予定の合同相談会やオープンキャンパス（学校説明会）の案内とあわせて、県内の高等学校の特色ある取組も紹介しています。御覧ください。

今後も「高校教育課 情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3624 / FAX：022-211-3696
